

講師:水野聡 (能文社)

【言の葉庵】トップページへ  
<http://nobunsha.jp/>

## 〈東京都渋谷区・よみうりカルチャー恵比寿〉

【定期講座】千利休と侘び茶の世界  
～『南方録』を読む～

<http://www.ync.ne.jp/ebisu/kouza/201704-01510201.htm>

開講日:毎月第三木曜日 10:30-12:00  
2017年4月～2017年9月(全6回のコース)

受講料 会員:6か月6回 19,440円(うち消費税額1,440円)

設備費 777円

カード代 216円

教材費 コピー代 972円

※公開講座以外には入会金が必要です。

※新規受講の方は、ほとんどの講座で残り回数分での受講が出来ます。

・お問い合わせ・お申し込み

よみうりカルチャー恵比寿

Tel 03-3473-5005

■千利休のわび茶の心を伝える奥伝書、南方録。古来数多い茶書の中で、最も重要視されてきた茶道の聖典とよばれる名著です。

利休の高弟、禅僧南坊宗啓の聞書に、利休が奥書・印可を加え成立したといわれます。当講座では、南方録の「覚書」「台子」「墨引」など全七編から、名文・名段落を選んで、受講生とともに音読します。利休わび茶の骨法を、当時の武人や名茶人のエピソードなども交えながら、初級者向けにくわしくやさしく解説していきます。今回ははいよいよ最終章「滅後」へ。今期にて『南方録』全巻を読了する予定です。

### 【カリキュラム】(各回講義予定)

- ◆第一回 4/20「滅後」利休賜死の真相と茶の未来 1
- ◆第二回 5/18「滅後」利休賜死の真相と茶の未来 2
- ◆第三回 6/15「滅後」薄茶の点前には極真がある
- ◆第四回 7/20「滅後」利休と紹鷗の片耳欠きの花入
- ◆第五回 8/17「滅後」山居閑中の草庵体とは
- ◆第六回 9/21「滅後」南方録七巻は利休居士点茶の奥旨

## 〈東京都目黒区・自由が丘産経学園〉

定期講座:お能鑑賞 はじめの第一歩

「能」がまるごとわかる

～能の基本知識がゼロから学べる超初心者向け講座

<https://www.sankeigakuen.co.jp/search/detail.php?SC=16&CC=1060153&OS=00>

2017年4月～5月、6月～7月、8月～9月(各2回コース)

開講日:第4週水曜日 10:30-12:00

受講料:(2回分)5,600円+税、教材費300円+税

・お問い合わせ・お申し込み:自由が丘産経学園 TEL 03-3718-4660

・受付時間:月～土曜 9:30-20:00 日曜9:30-17:00

■能の歴史、能役者、舞台の秘密、ストーリーから鑑賞方法まで一。能の「すべて」をコンパクトにご案内する超入門編講座です。これまで能の講座を受けても、すっきりしなかった疑問がまるごと解決します。第一回と第二回は能を知る、基本中の基本講座。名作能ビデオも毎回鑑賞します。

### 【カリキュラム】(各回講義予定)

2017/4/26 基本知識1 能の歴史と能をつくった人々

2017/5/24 基本知識2 能の配役・舞台・能面

2017/6/28 能のストーリーと劇構成

2017/7/26 能の幽玄とは

2017/8/23 『風姿花伝』第二 能の演技の秘密

2017/9/27 『風姿花伝』第七 能の花とは

〈東京新橋・寺子屋 素読ノ会〉  
※言の葉庵オフィシャル講座

講座名：Aクラス『葉隠』  
Bクラス『申楽談儀』  
Cクラス『南方録』

<http://nobunsha.jp/img/terakoya%20annai.pdf>

日時：各クラス毎月一回以下の曜日・時間帯にて開講

Aクラス 第二金曜日 10:00～11:30

Bクラス 第二金曜日 13:00～14:30

Cクラス 第二金曜日 15:00～16:30

受講料：各講座一回 1,500円

場所：生涯教育センター ばるーん(新橋) ※開講する部屋は、当日ばるーん一階の掲示板をご確認ください。

問合：能文社 電話・FAX 044-844-2744(水野)

Mail [info@nobunsha.jp](mailto:info@nobunsha.jp)

■【言の葉庵】公式セミナー。千年の名著といわれる日本の古典を読み、学び、親しむ“大人の寺子屋”です。各クラス指定作品を一冊完読。受講生による原文音読、講師による注解に加え、時代背景や他分野への日本文化の広がりもつながりも学んでいきます。中世の偉人、達人の輝く智慧と精神性をたどり、現代を強く生き抜く力を身につけたいと思います。

※予約・申込・入会金等一切不要。テキストプリントの配布はありませんので、各作品の岩波文庫版をご自身で入手し、当日お持ちください。

古典に親しみたいと思う方なら、どなたでもご自由にいつでもご参加いただけます。初参加の方は、能文社あてメールまたはFAXにてご一報ください。初回参加用資料をお持ちします。